

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小海町の観光資源事業
事業主体 (連絡先)	小海町 (小海町 産業建設課 経済係長 遠藤 健太 電話：0267-92-2525)
事業区分	6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,899,900円 (うち支援金：3,000,000円)

事業内容

1 信州DCに合わせたシャトルバスの運行

(1) 運行時期及び運行時間

7月～10月土日祝日のうち、10時から16時 合計40日

(2) 運行形態 7月：1台 8月～10月：2台

(3) 運行場所 小海リエックス駐車場から白駒の池まで

(4) シャトルバス告知方法 専用チラシをJR小海線

県内びゅうで告知、案内。

自家用車は小海リエックスの駐車場に駐車し、シャトルバスに乗り換え

一般のバスについては白駒の池で乗客を降ろした後、同じく小海リエックスにて待機し

渋滞の緩和を図る。



事業効果

・現状で白駒の池の渋滞は、紅葉の10月がピークで乗用車約8,700台
この事業で駐車場の入口で待つ車を、各市町のシャトルバス発着場へ誘導することにより渋滞8,700台を6,000台に減少させ、渋滞の緩和が図られた。

・H28：10月8,687台

⇒ H29実績10月6,860台 1,827台の減少

・シャトルバス運行：7月から10月の土日祝日

延べ3,106名の利用実績

【目標・ねらい】

①10月紅葉時期の車両渋滞の緩和

2信州DCを契機としたシャトルバス
運行による観光客へのおもてなし

③白駒の池の訪問者数：例年の1.5倍
見込む

今後の取り組み

・シャトルバス運行は、車両交通渋滞対策に効果があった。

来年度のアフター信州DCに合わせ8月のお盆シーズンと

秋の紅葉シーズンにシャトルバスを運行し、

昨年に引き続き車両渋滞の緩和と観光客への

おもてなしを図っていきたい。

※2自己評価(事業効果)【B】

●渋滞対策が図られ、白駒の池訪問者数
も前年度比155.8%となった。

※1自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある